



外務省

Ministry of Foreign Affairs of Japan



海洋の持続的な利用と保全 ～海洋プラスチックごみとIUU漁業～

2019年11月7日

東京サステナブル・シーフード・シンポジウム

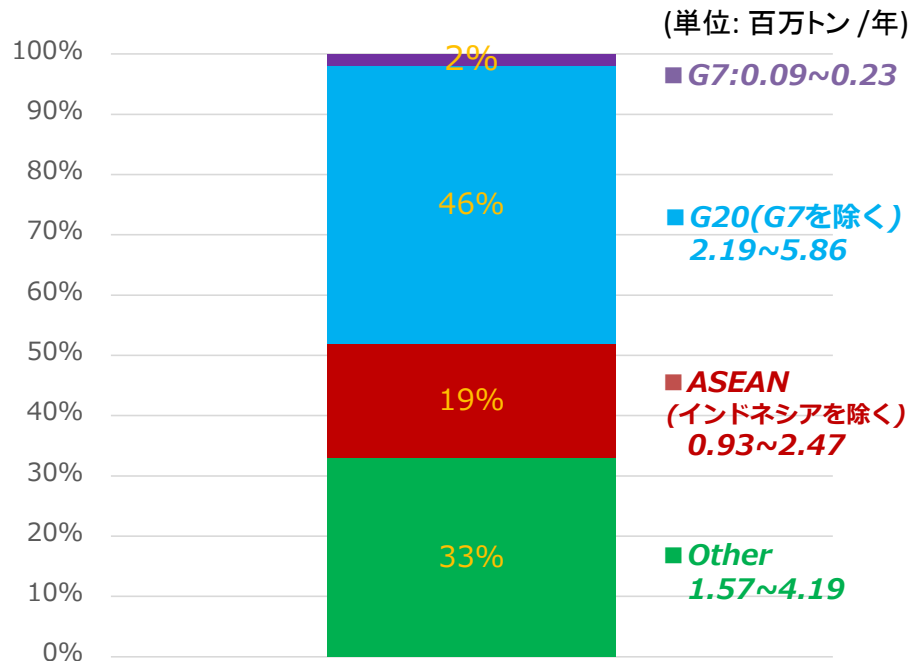
外務省地球環境課公式ツイッター・アカウント ⇒

https://twitter.com/MofaJapan_Env



海洋プラスチックごみ問題②

海洋プラスチックごみ流出量 (2010年推計値)



1位	中国	132～353万 t / 年
2位	インドネシア	48～129万 t / 年
3位	フィリピン	28～75万 t / 年
4位	ベトナム	28～73万 t / 年
5位	スリランカ	24～64万 t / 年
	⋮	
20位	アメリカ	4～11万 t / 年
	⋮	
30位	日本	2～6万 t / 年

(出典) Jambeck *et al.* : Plastic waste inputs from land into the ocean, Science (2015)

(注) 割合は流出量(推計)の中央値で計算。

(注) 人口, 経済規模等のデータからの推計。

➤ 先進国だけの努力で解決できるものではなく, 途上国を含む世界全体で対処する必要がある。

G20における成果

「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」(G20大阪首脳宣言)

- G20大阪サミット(令和元年6月28, 29日, 議長: 安倍総理)において, 共通の世界のビジョンとして, 2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにまで削減することを目指す, 「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を共有。
- 今後, G20以外の国際社会の他のメンバーにも, このビジョンを共有するよう呼びかける。

「G20海洋プラスチックごみ対策実施枠組」(G20大阪首脳宣言)

- 「G20海洋プラスチックごみ対策実施枠組」を, G20首脳としても支持。

◆「G20海洋プラスチックごみ対策実施枠組」(G20軽井沢関係閣僚級会合(令和元年6月15,16日)にて採択)

- 適正な廃棄物管理, 海洋プラスチックごみの回収, 革新的な解決策(イノベーション)の展開, 各国の能力強化のための国際協力等による, 包括的なライフサイクルアプローチを推進。
- G20各国は, 海洋プラスチックごみに関して自主的に実施する政策, 計画, 措置等の情報について, 継続的に共有・更新。



【持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合】



【G20大阪サミット】

【参考】海洋プラスチックごみ問題に関する安倍総理発言

G20議長国会見における安倍総理発言(抜粋) (令和元年6月29日)



「海洋プラスチックごみも、一部の国だけでは解決できない課題です。そうした中でG20が結束して、新たな汚染を2050年までにゼロにすることを目指す「大阪・ブルー・オーシャン・ビジョン」を共有できたことは、この問題の解決に大きな一歩であると考えています。その実現に向けた具体的実施の枠組みでも合意しました。我が国は、これまでの技術や経験をフル活用し、途上国の廃棄物管理や人材育成支援を行い、世界の取り組みに日本らしい貢献をしてまいります。」

所信表明演説における安倍総理発言(抜粋) (令和元年10月4日)



「海洋プラスチックごみが、国際的に大きな課題となっています。大阪サミットにおいて、新たな汚染を2050年までにゼロにすることを目指す、新しいビジョンを共有いたしました。その実現に向けた具体的な実施枠組みにも、G20として合意しました。新興国も含めた世界全体での取り組みを、日本として、これからも、後押ししてまいります。」

大阪ブルー・オーシャン・ビジョン実現のための「マリーン(MARINE)・イニシアティブ」

1. 「マリーン(MARINE)・イニシアティブ」

- 廃棄物管理: Management
- イノベーション: Innovation
- (海洋ごみの)回収: Recovery
- (途上国の)能力強化: Empowerment

➡ 「MARINE」と総称

2. 二国間ODAや国際機関経由の支援の例



ごみ収集車の提供



最終処分場の整備のための技術協力



覆土によるごみの飛散流出を防止

3. 日本企業・NGO・地方自治体の国際展開の例



廃棄物発電施設



紙製バリア包装材



海洋生分解性プラスチック

IUU漁業①

1 IUU漁業

- Illegal(違法)
- Unreported(無報告)
- Unregulated(無規制)

2 主なIUU漁業対策

- 入港の拒否, 港の使用の拒否, 船舶の検査(違法漁業防止寄港国措置協定)
- トレーサビリティの確保

地域漁業管理機関(RFMO)のIUU漁船リストの船舶例
南極海洋生物資源保存委員会HPより



IUU漁業②

3 G20大阪首脳宣言パラ40

- 違法・無報告・無規制(IUU)漁業は、世界の多くの地域において、引き続き海洋の持続可能性にとって深刻な脅威となっているため、我々は、海洋資源の持続的な利用を確保し、生物多様性を含め、海洋環境を保全するために、IUU漁業に対処する重要性を認識しIUU漁業を終わらせるという我々のコミットメントを再確認する。

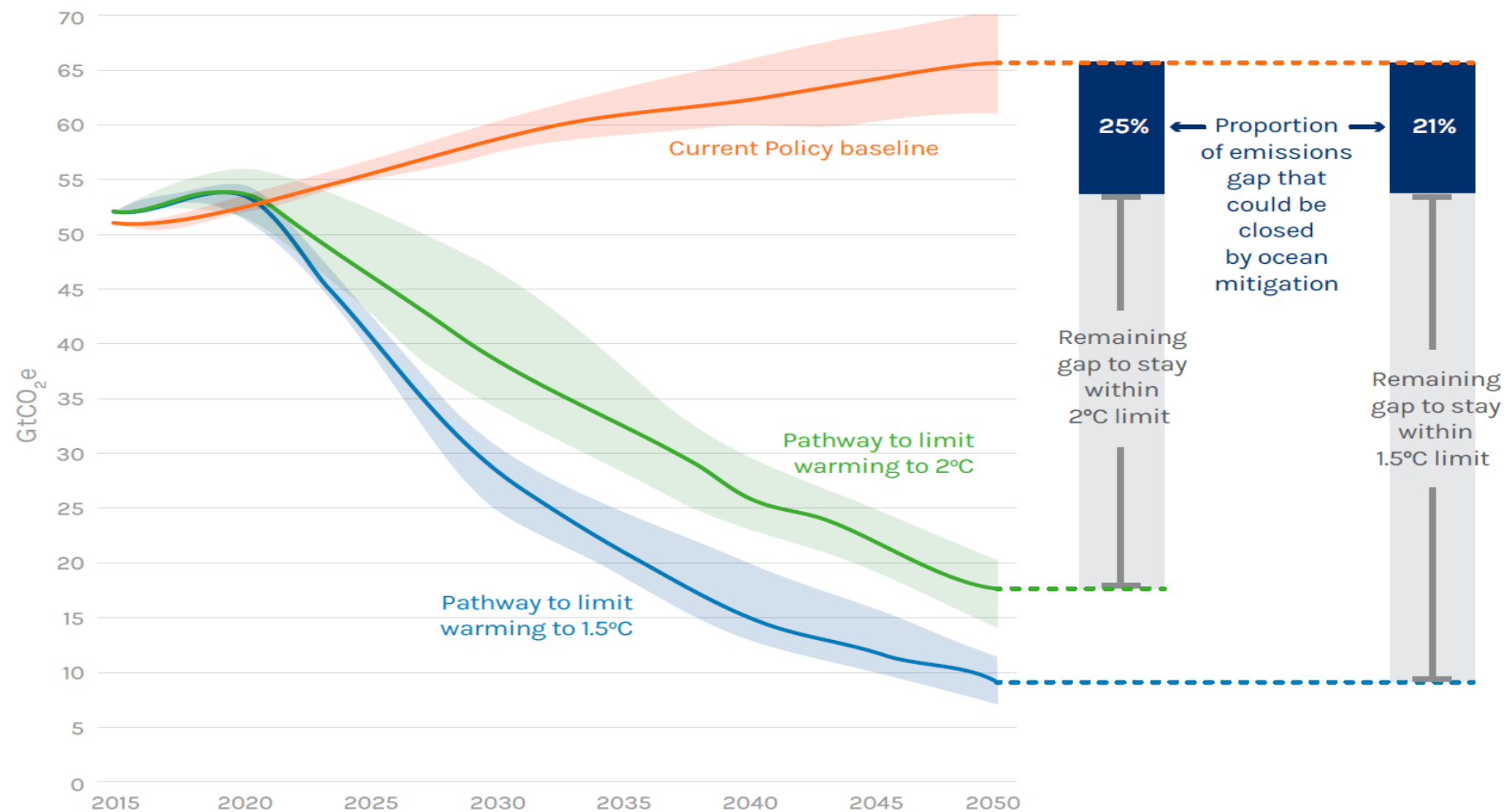
持続可能な海洋経済の構築に向けたハイレベル・パネル①

- ノルウェーが主導して立ち上げ。
- 我が国をはじめ主要な海洋国家の首脳によって構成。
- 令和2年6月にリスボンで開催される「国連海洋会議」に合わせて勧告を出す予定。



持続可能な海洋経済の構築に向けたハイレベル・パネル②

Contribution of Ocean-based Mitigation Options to Closing the Emissions Gap in 2050



Source: Adapted from UNEP 2018, Climate Action Tracker (2018)

持続可能な海洋経済の構築に向けたハイレベル・パネル③

Clusters	Blue Papers
A The ocean productivity – The ocean's contribution of energy, food and minerals to sustainably support 9.5 billion people by 2050	①  (Alternative) production of protein in the ocean
	②  How climate change (scenarios) would affect the ocean economy
	③  Ocean energy and mineral sources
	④  The ocean genome – commodifying or preserving the threatened biological diversity of the sea?
B The ocean as catalyst for innovation and terrestrial reform	⑤  Pollution and circular economy: plastics, industrial, agricultural and societal waste
	⑥  Technology, data and new models for sustainably managing ocean resources
	⑦  Coastal development – managing resilience, restoration and infrastructure of coastlines
C The finance of ocean health and wealth	⑧  National accounting of ocean natural assets – Measuring ocean recovery and productivity
	⑨  Ocean finance, insurance and subsidies
	⑩  Critical habitats and biodiversity - Inventory, thresholds and governance
D Reinventing the human relationship with the ocean	⑪  The relationship between humans and their ocean planet
	⑫  The ocean transition – what to learn from system transitions
	⑬  How to distribute the benefits of the ocean equitably
E Managing the ocean	⑭  Integrated ocean management
	⑮  Illegal, Unregulated and Unreported (IUU) Fishing and associated drivers
	⑯  Organised crime associated with fisheries